

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 中田 浩彰(有馬小学校)
平成26年6月 第1号
担当 下小田中小学校 鈴木 聡

「川崎市立小学校情報教育研究会総会」を開催しました



平成26年5月14日(水)、川崎市立中原小学校にて、川崎市立小学校情報教育研究会総会を開催しました。本年度は134人の会員を迎え、大盛況の中、開会されました。

研究会からは、梶ヶ谷小学校で7月2日(水)に行われる研究授業のほか、11月21日(金)にはほひ野小学校で行われる、神奈川県視聴覚・放送教育研究合同大会についても紹介されました。

また、夏休み中の研修の紹介も行われました。情報・視聴覚センターと共催で行われるタブレットPCの活用法の研修、中原図書館にて行われる団体貸出の活用などの研修について紹介しました。

講演「放送教育のちから」 全国放送教育研究会講師 鈴木衆 先生



教育の場における様々な「メディア」の活用の仕方、特に学校放送番組の活用の仕方についてお話し頂きました。

冒頭では、「自動車ができるまで」をテーマとしたホームページ、動画、放送番組を取り上げ、それぞれの特性を紹介。同じテーマであっても、用途によって、得られる情報の違いを会場の参加者ととも考え、明らかにしていきました。そして、それぞれのメディアには固有の良さがあると、学習のねらいや目的に合わせて活用することが大切であることを教えて頂きました。

また、学校放送番組の特性として、映像による情報、ドラマ性、直接教授性など、学習者を主体とした学習を目指した放送番組の魅力を紹介して頂きました。

講演「読書へのいざない」 川崎市総合教育センター 石堂真理子先生

5年生の授業で使えるブックトークをテーマに、実際にブックトークを行って頂きました。

好きな本を読んでもよと言われても、なかなか選べない、読めない子どもたちのために本の紹介をしましょう、と「北の森の十二月」や「片耳の大シカ」「鹿よ おれの兄弟よ」などの本を紹介して頂きました。著者にまつわるエピソードを紹介したり、実際に本文を抜粋し読み聞かせをしたりすることで、続きが読みたいと感じさせる、そんなブックトークでした。

また、担任の思いを言葉で伝えるだけでなく、本を通して伝えることもできる例として紹介いただいた「がっこうはまちがうところだ」と「わたしのいもうと」は、文字通り物語の語りかけの力を感じることができるものでした。



情報主任会
図書主任会
のお知らせ

6月4日(水) 15:30～ 中原小学校

情報主任会では、情報交換やお悩みの相談のほか、情報主任の仕事のノウハウやICT機器の活用、ホームページの更新についての相談会を開催します。図書主任会では、読書感想文・感想画コンクール募集要項と学校図書館の運営についてお伝えするほか、原伸子先生によるブックトークについての講演会を予定しております。皆さんのお役に立てるような主任会にしたいと考えています。